

2025年度 教育計画

教科	芸術	単位数	前期Ⅰ 後期Ⅰ
科目	音楽Ⅱ	スクーリング(時間)	前期4 後期4
科目の目標	①レポートを通して学習内容を理解し、音楽Ⅰの学習を振り返りながらさらに音楽への理解を深める。 ②様々な音楽を鑑賞して、音楽のよさやすばらしさを深く味わう。 ③歌唱体験や鑑賞体験を通して表現力を身につけ、関心を高める。		
教科書	音楽Ⅱ Tutti+ (教出701)	学習書	なし
副教材	なし	その他教材	なし

学期	月	項目	内 容	スクーリング	レポート	
					回数	日
前期	4	○楽典の学習 ○歌唱活動(教科書の楽曲)	●楽典(音符と休符、音名と階名・鍵盤図、強弱記号、唱法・奏法記号、音楽用語、演奏順序)について学び、楽譜の仕組みをさらに深く理解する。 ●教科書の楽曲を歌い、歌う楽しさを味わう。	20		
	5	○楽典の学習 ○歌唱活動(教科書の楽曲) ○西洋音楽史と作曲家について(中世～近代・現代) ○楽器の分類と名称 ○独奏曲の鑑賞	●楽典(音符と休符、音名と階名・鍵盤図、強弱記号、唱法・奏法記号、音楽用語、演奏順序)について学び、楽譜の仕組みをさらに深く理解する。 ●教科書の楽曲を歌い、歌う楽しさを味わう。 ●西洋音楽史(中世～近代・現代)と作曲家たちについて理解する。 ●楽器の分類について学び、音の特徴をつかむとともに名称も覚える。 ●様々な楽器の独奏曲を鑑賞して楽器の構造について理解し、楽器の音色・奏者の表現力を味わう。	12 26	第1回	21
	6	○西洋音楽史と作曲家について(中世～近代・現代) ○楽器の分類と名称 ○鑑賞(独奏曲・協奏曲・交響曲・オペラ「トゥーランドット」)	●西洋音楽史(中世～近代・現代)と作曲家たちについて理解する。 ●楽器の分類について学び、音の特徴をつかむとともに名称も覚える。 ●様々な楽器の独奏曲を鑑賞して楽器の構造について理解し、楽器の音色・奏者の表現力を味わう。また、協奏曲・交響曲を鑑賞して魅力を味わう。 ●オペラ「トゥーランドット」を鑑賞して、物語と音楽との関わりについて考え、オペラの魅力を味わう。	1 23 29	第2回	18
	7	○協奏曲・交響曲について ○オペラ「トゥーランドット」 ○鑑賞(協奏曲・交響曲・オペラ「トゥーランドット」) ○前期のまとめ	●協奏曲・交響曲について音楽Ⅰの学習を振り返りながら深く理解する。 ●協奏曲又は交響曲を鑑賞して曲の仕組みを考え、管弦楽曲の魅力を味わう。 ●オペラ「トゥーランドット」を鑑賞して、物語と音楽との関わりについて考え、オペラの魅力を味わう。	7	第3回	23
	8					
	9	○組曲と交響詩について ○鑑賞(組曲・交響詩・民族音楽) ○写譜の体験	●組曲と交響詩について理解する。 ●組曲又は交響詩を鑑賞して、物語や場面・情景を思い浮かべながら、音楽の表現効果や管弦楽の響きを味わう。 ●写譜の体験をして、楽譜の仕組みを理解する。	28		
後期	10	○組曲と交響詩について ○鑑賞(組曲・交響詩・民族音楽～器楽曲・日本の伝統音楽) ○写譜の体験 ○アメリカ大陸育ちのクラシック音楽の鑑賞 ○日本の伝統音楽の鑑賞	●組曲と交響詩について理解する。 ●組曲又は交響詩を鑑賞して、物語や場面・情景を思い浮かべながら、音楽の表現効果や管弦楽の響きを味わう。 ●写譜の体験をして、楽譜の仕組みを理解する。 ●アメリカ大陸育ちのクラシック音楽を鑑賞して、音楽表現・音楽技術・楽器の音色などを味わう。 ●日本音楽について学び、伝統音楽を鑑賞して音色を味わう。	6 20	第1回	22
	11	○アメリカ大陸育ちのクラシック音楽の鑑賞 ○日本音楽史と楽曲について ○日本の伝統音楽の鑑賞	●アメリカ大陸育ちのクラシック音楽を鑑賞して、音楽表現・音楽技術・楽器の音色などを味わう。 ●日本音楽史及び日本音楽の楽曲の種類について学び、その分野で貢献した人物について知る。また、日本の伝統音楽を鑑賞して音色を味わう。	17 23	第2回	19
	12	○ミュージカルの鑑賞 ○アニメソングの歌唱体験 ○楽器の演奏体験のまとめ ○おすすめの曲紹介 ○器楽活動(予定) ○まとめ	●ミュージカルの楽曲を鑑賞して、総合芸術の表現力や魅力を味わう。 ●教科書のアニメソングを歌唱体験して、表現力を身に着ける。 ●これまでの印象ある楽器の演奏体験についてまとめ、喜びを感じる。 ●様々なジャンルの楽曲よりおすすめの曲について魅力をまとめる。 ●後期のまとめ	7 15		
	1				第3回	7
	2					
	3					